

総合計画体系	まちづくりの目標		安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策		生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業		環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業		害虫駆除事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

[illegible]

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止する。

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 委託業者作業箇所数	箇所	20,286	20,293	22,838	13,000	13,000
②						

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	衛生害虫（主に蚊）媒介感染症罹患者数（海外渡航後発症等を除く）	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0			
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	必要とする用水路等に効率よく作業を行うことにより、感染症患者発生 の未然防止に貢献した。	(目標達成度)						
成果指標③	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標④	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						

指標名	単位	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (決算)	令和 4年度 (決算)	令和 5年度 (予算)
トータルコスト	円	35,532	35,450	35,275	37,032
(事業費)	円	32,539	32,430	32,281	34,038
(職員人件費)	円	2,993	3,020	2,994	2,994

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
感染症の蔓延を防止し、市民の快適な生活環境を維持できている。駆除の必要性の再検討や駆除箇所の精査等により、コストの削減及び事業規模の縮小化を図る。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
市民が安全で安心して快適な生活環境を維持できるよう、今後とも引き続き事業を継続して実施することとし、実施体制については、委託業者の作業箇所数を精査するなど、コストの削減及び事業規模の縮小化を検討していく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	公衆浴場施設改善事業等助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	風呂のない家庭にとって、公衆浴場は日常生活で欠くことのできない施設であるが、その数は段々と減少しているため、経営の安定化を図るなどの必要な助成を実施することにより、公衆衛生の向上や増進、住民の福祉の向上を図る。				
年度概要	公衆浴場業者への水道料金助成 公衆浴場活性化事業等補助 公衆浴場施設改善事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

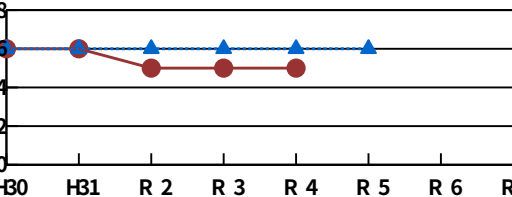
【事業の目的】

対象（何を）	香川県知事が指定する物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場業者及び高松公衆浴場組合
意図（どのような状態にしたいか）	公衆浴場業者の経営の安定化を図り、転廃業を防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 補助金交付件数	件	3	3	1	2	2
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	一般公衆浴場数（銭湯）		箇所	目標値	6	6	6	6	
				実績値	5	5	5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
施設の老朽化が進んでいるが、補助を行うことにより、計画的に施設改善に取り組んでいる。ただし、一般公衆浴場については、経営者の高齢化に伴い、休止している施設がある。		(目標達成度)							(達成度) 83.3%
									29点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	9,243	8,835	20,041	9,278
（事業費）	〔千円〕	6,998	6,570	17,796	7,033
（職員人件費）	〔千円〕	2,245	2,265	2,245	2,245

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 一人でも多くの市民に公衆浴場を利用してもらえるように毎月イベント事業を実施することで、活性化に取り組んでいる。しかし、経営の高齢化に加え、燃料費等の高騰により、安定した収入が見込めない上に、後継者不足等により浴場数が減少傾向にあることが、今後の課題としてあげられる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 市民の公衆浴場の利用機会の確保のためには、利用しやすい入浴料金を設定しなければならないが、値上げによる対応は困難であり、引き続き市の助成が必要である。一方、公衆浴場数の維持のためには、利用者の確保が必要であり、自家用風呂の保有者による利用を促すなど、さらなる利用者の拡大に向けて、公衆浴場組合による銭湯のイベント等において魅力ある事業を展開していく必要がある。今後は、公衆浴場施設経営者の意見や市民のニーズの把握などに努め、助成対象事業の内容を精査するなど、より効果的な事業を実施していく。			